

義妹 幼馴染  
になった

セックス 漬け NTR!!!

大好きな幼馴染が

いつのまにか弟とデキでて

ショックを受けたお兄ちゃんは、

何をやるかわからない。

フルカラー

60のボリューム!!  
ページ

けんくん！  
じゅんくん！

おいししゃさんごっこ  
しよー！

ぼく、  
おおきくなったら  
おいししゃさんになる！

ゆうかちゃんが  
ホントにびょうきになったら  
なおしてあげるよ！

わあ！  
やったあ！



そっかあ…  
賢くん、  
遠くの大学  
行っちゃうんだ…

寂しくなるなあ…



でもお医者さん  
なるんだもんね！  
私、応援してるから！

頑張ってるね！

優香、  
俺は…！

いや、うん…

頑張るよ…

じゃ、またな—



ふう、  
あちく…

盆の時期、  
遠方で医学生をしている俺は  
実家に帰省していた。



ただいまー。

おかえり。



ああ。  
俺もそう  
聞いている。

今実家に籍があるのは  
母と弟の淳。



淳はまだ  
帰ってないんだよね？

今日の夜に  
一時帰宅するってさ。



トッ  
トッ  
おかえり、  
賢くん。

そしてもう一人ー



まあ仕事じゃ  
しょうがないだろ。

せっかく結婚したつてのに  
こうも出張続きじゃ、  
孫の顔ももうしばらく  
見られそうにないねえ。



淳の嫁、  
優香だ。

ああ、優香。  
久しぶり。

優香と俺達兄弟は  
昔からの幼馴染。

幼い頃から  
3人でよく遊んでいた。



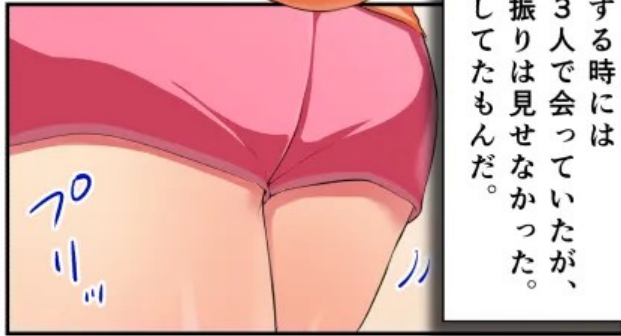
俺が進学のため実家を出た後も  
地元に残った淳と優香は  
親しくしていたようで、

数ヶ月前  
ついに2人は結婚した。



ははっ、  
なんか優香がうちにいるの  
変な感じだな。

ふふ、そう？  
ちっちゃい頃はよく  
遊びに来てたじゃん。



俺が帰省する時には  
たいてい3人で会っていたが、  
そんな素振りは見せなかった。  
うまく隠してたもんだ。



俺はその時まで、  
2人が恋愛関係にあった事すら  
知らなかったが。

聞けば  
俺がいなくなっただけ  
付き合い始めたらしい。



軽く診てやろうか。  
これでも医者なの  
たまごだからな。



っつか優香、  
ちょっと顔色悪くないか？  
え、  
そうかな...？



じゃ、  
俺の部屋に...



ああそうしな。  
病院も休みだからね。  
う、うん。





ごめんね、  
やっぱり大丈夫。

スタ  
スタ



いや聴診器とかそんな  
本格的なのは  
いいって言うか…

一応人妻だしさ…

もじ

もじ



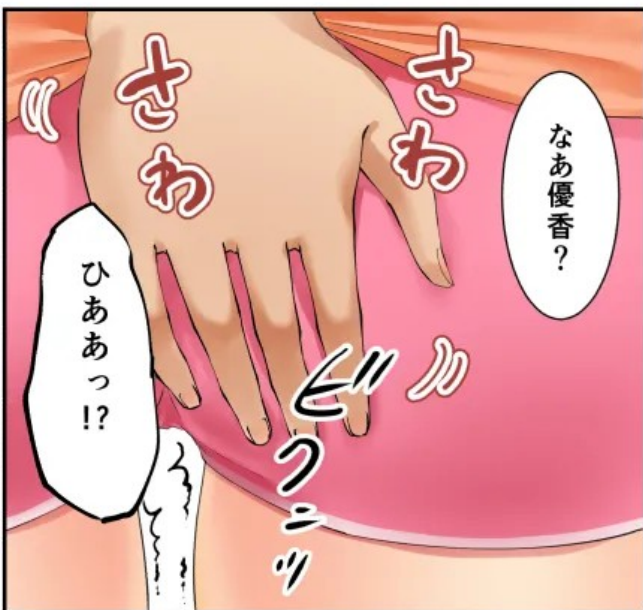
賢…くん?

またしようぜ?



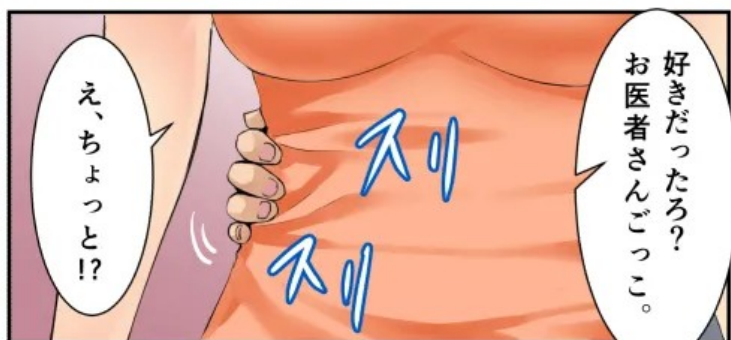
なんでだよ?

っ!



なあ優香?

ひああっ!?



好きだったろ?  
お医者さんごっこ。

え、ちょっと!?



ただ3人の関係が  
壊れるのが怖くて  
告白できなかった。

ガキの頃から  
ずっと優香が好きだった。

え...っ!?

そんな...!

びる  
びる

ガキッ



でも必死に勉強してる間に、  
お前は淳に取られちゃった。

な、何する  
つもり...?



優香が応援してくれている。  
せめて期待に応えて  
あいつの自慢の幼馴染になろう。

そうやって俺は必死に  
勉強してきたんだ!

キョあ?!?

びる  
びる  
んっ

ずっと我慢してきた  
事だよ。

くっ  
くっ





素直になれよ。  
やりたくて  
仕方ないんだろ？

あ、ちが…っ！



賢くん…  
だめだって  
これ以上は…！

何がだよ？



こんなに乳首  
硬くしておいて。



俺はもう  
素直になるぜ…！

そのために  
帰ってきたんだ！

あっ  
あおが!!



あぁあぁあぁ

しっかり支えてやらないとな。

がりがり

あぁ

かっしっ

おっと。

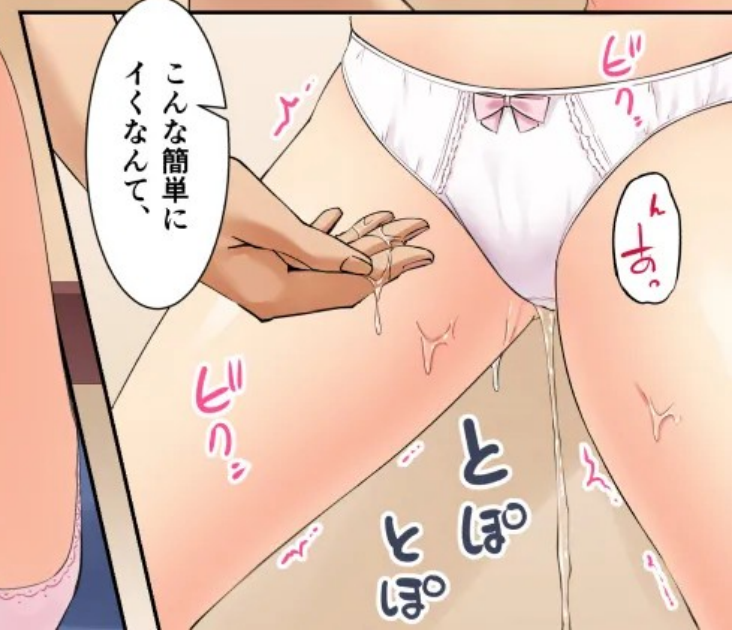
あ、足に力が入らない...

あ...

そうか。じゃあ

すっ





あ

ズル...

ま、待って賢くん...!

それはホントに...!

ぱん

体は正直だなあ。

物欲しそうにひくついでるぞ。

キュン

キュン

キシ...

先に関係を壊したのはお前なんだ。

やっ...

なら俺がもうちょっと壊してもいいだー

ぱん

やっ  
だめ



ろっ!?

ケッ  
アッ



ぐ、ふう...  
どうだ優香、  
久しぶりのチンポは?

じん

あく...  
あああ...!

じん

おっおっおっおっ



顔が  
とろけてるぞ?

ん



これが欲しくて  
たまらなかったんだろ?

だめ...  
なの...!

アッ  
アッ  
アッ







ああっ!!

いいんだよそれで!  
ただ気持ちよく  
なってるやいっ!

だめっ、だめえっ!  
何も考えられなく  
なっちゃうう...!!

ぐっ!  
中がキツく...!



お前が  
ぎゅうぎゅう  
締め上げてんだよ...!

んああっ!  
おちんちんっ  
大きくなった!?



出すぞっ  
優香...!

あっあっ!  
イク!  
イク...っ!



こんなに  
締められたら  
俺も...!

だめえっ中っ、  
めくれちゃうっ!  
こんなの  
むりいっ...!  
あ!!



あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



人間が快楽に負けてしまうのは仕方がない事だよ。

な、なにを他人事みたくー



はあ

はあ

あう...

私、なんて事を...

トロ...



本能が求めているんだ

性的快感を。

っ！



どうせ戻らないなら悩むより

それを楽しんだ方が幸せだと思わないか？

ゴウ...



優香。

一度壊れたものは元に戻らないんだ。

がしっ





私、  
こんなにエッチ  
しなかったの...!?



ホントに私...

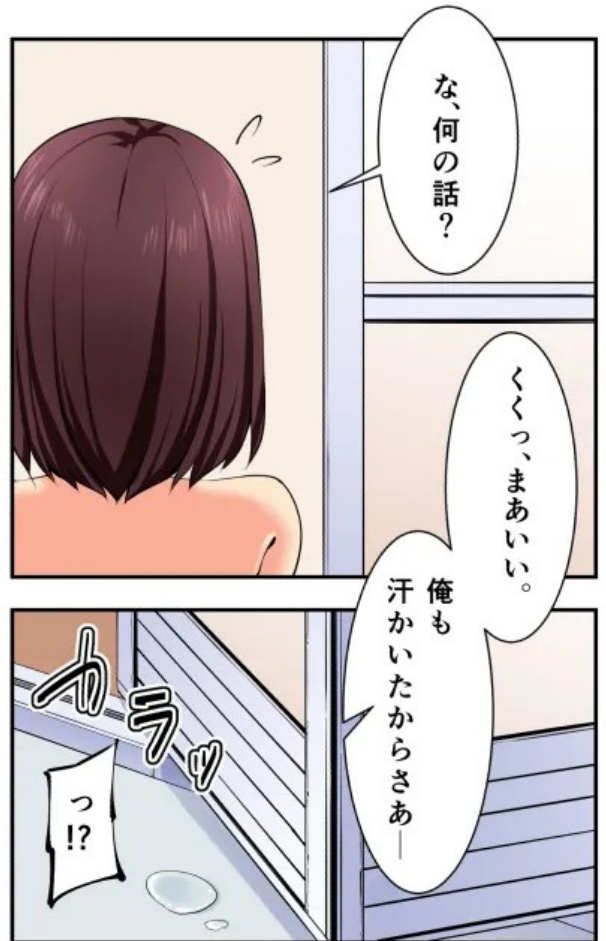


ひあっ!?

声が漏れてるぞ、  
優香。

け、賢くん...?  
ずいぶん  
お楽しみじゃないか。

快感に飢えてたのかも...





いいじゃねえか...よっ!

これは「たわし洗い」  
っつって、

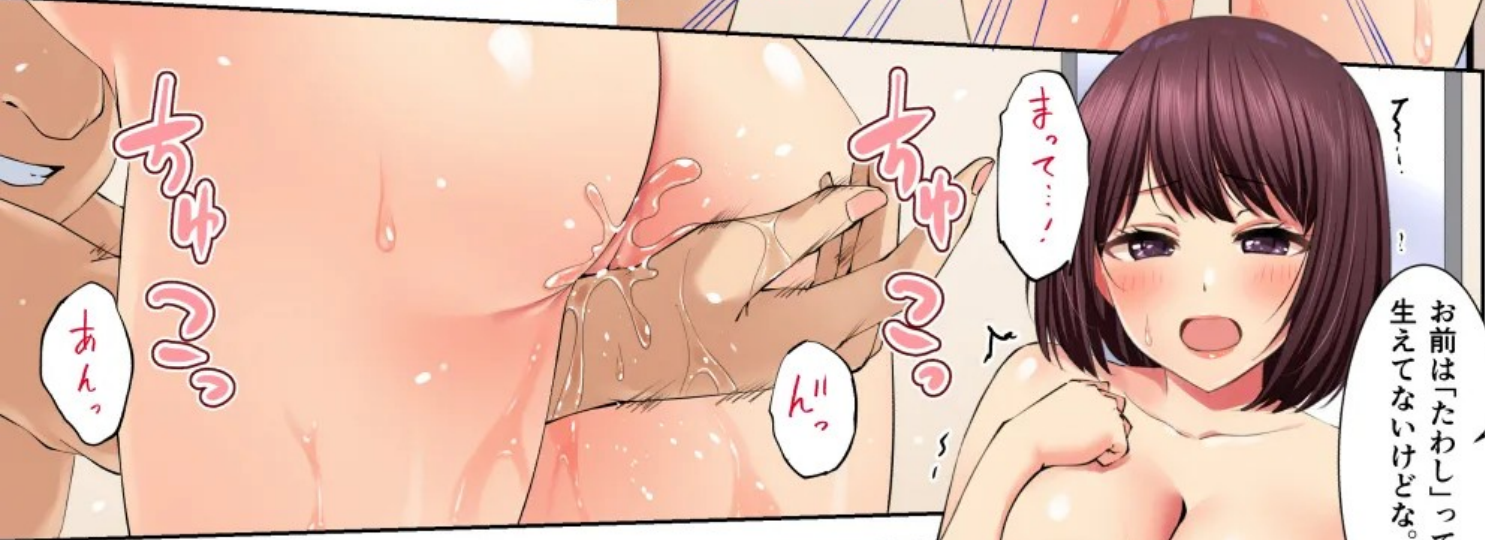
ああん!!

ぬりゃりゃ

どろろろろ



女の股間を使って  
洗う方法だ。



お前は「たわし」ってほど  
生えてないけどな。

ま...!

ちゅっ

あん



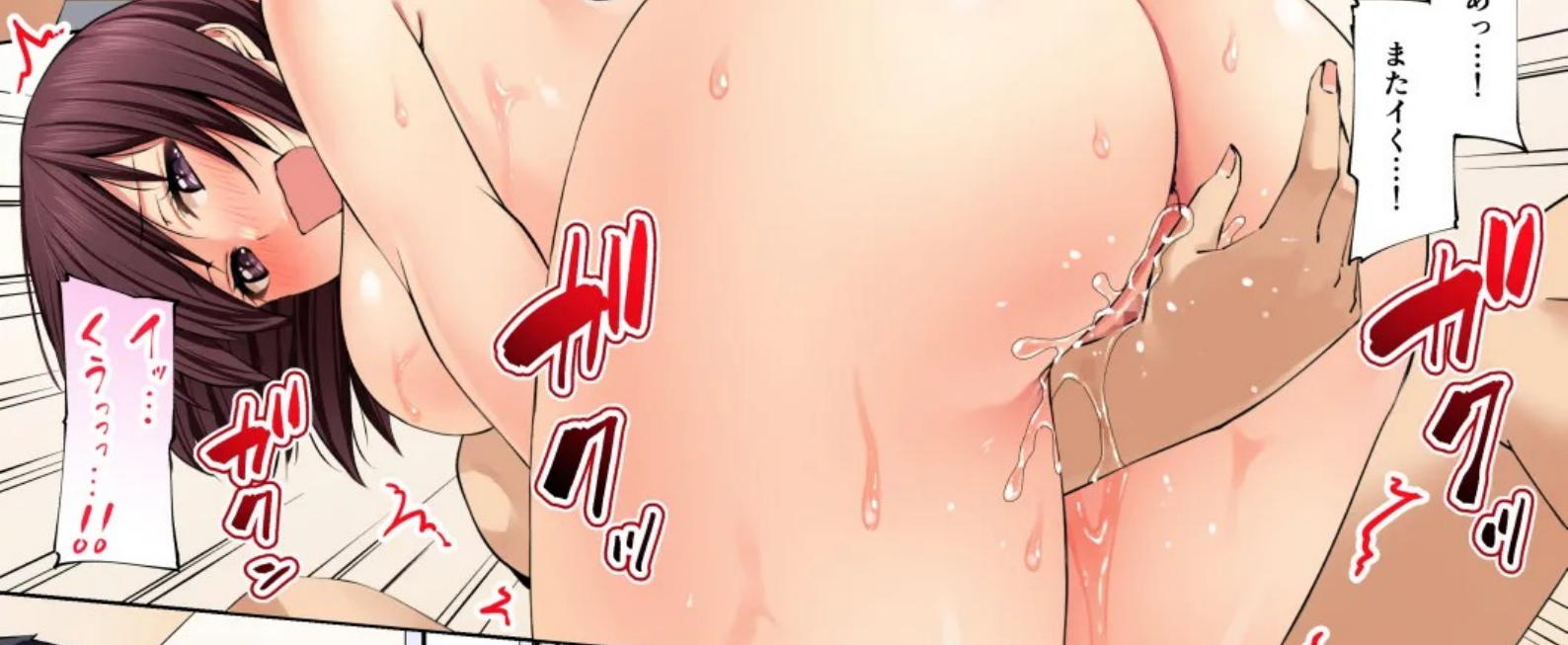
どうした?  
洗ってるだけだぞ?

だ、だって...



ちゅっ...!

フルッ





じ、淳…!?

おう、  
今帰ったぞ!

ほっ  
ほっ  
ほっ

ねえ…っ!?

予定より  
早かった!

にやり…

ん?  
どうかした?

そう?

いやあ  
急いで来たら  
汗かいたし俺も

じゅっ  
じゅっ  
じゅっ

はえっ…!?

ゆっ  
ゆっ

ううん…っ!

なんでも…ないっ…!

ぬち  
ぬち



わあっ!?  
ちょちょっ!

一緒に  
入ろっかなー?

!?

カッ  
カッ



えー…

あつ、ポ、ボディーツプが…  
無くなったからっ、

お風呂の前に  
買ってきて…?



そんなに怒るなよ…

き、急に  
開けないでよ!



そう…っ?

ん、なんか顔赤くない?  
長風呂してる?



はいはい  
わかったよ。

ほら、  
湿気が出ちゃうから  
閉めて…!



ふふ、  
どうだ？

ががが

んむうっ!!?

ふんっ!

ずん



夫の前で  
犯される気分は!?

ハチハチ



淳にバレたら…っ!  
どうするの…!!

ががが

ががが



あああっっ!  
ばかあっ!

ががが

興奮したろ!?  
まんこキュンキュン  
してたもんなあ!

ががが



毎日毎日  
気持ちよくて  
頭がおかしくなるくらい、

俺には  
出張も無いからなっ!



そしたら気兼ねなく  
俺とやりまくればいいっ!

そんなの…  
だめ…っ!



ハメまくってやるぞっ!!



お前に  
セックスの味を  
教えちゃった責任はな。



ふう…  
責任は取ってやるよ。

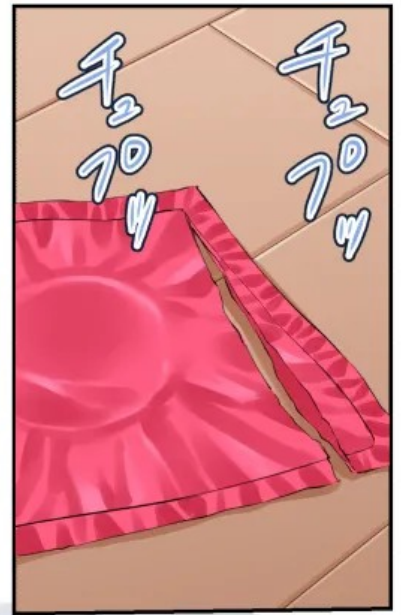
また…  
熱いのいっぱい…

はあ  
はあ



えっ…？

ゆ、優香…！  
久しぶりで俺…！



かっ

かっ

かっ

かっ

うっ…！

どっどっ…

もう…出る…！

あっ…



…



は、はは…

優香が可愛くて  
つい興奮しちゃった…

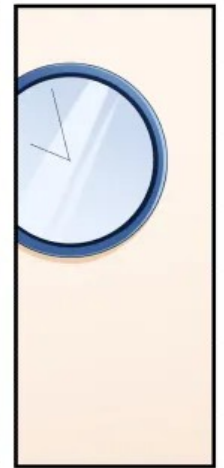
もう何言ってるの、  
淳。



そろそろ起きなさいって  
お義母さんが…



賢くん？



ん？  
なんだよもじもじして。

わかってるでしょ…！

昨日あんな事  
しといて…！



んあ…？

優香…  
もう朝か…

朝っていうか…  
もうすぐ10時だよ…



そんなわけ…！

ば、ばか  
何言ってるの!?



ああ、

俺を見たらまた  
体がうずいちまうってか？

くく…





まあまあ  
変に心配かけたくないんだよ。

せっかく久しぶりに  
淳が帰ってきてるのに。

いや  
そうは言っても…

でもまあ確かに  
昨日から  
顔も赤かったなあ…

びく  
びく



軽い風邪だろうけど  
夏風邪は  
油断できないからな。

…わかった。  
優香を頼んだぞ兄貴。

昼過ぎには  
帰るから。

ああ…

任せとけよ。  
くくく…

びくびく  
!!

びく  
びく



う、うん…  
ごめんね…

賢くんと  
お留守番してるわ…

はあ  
はあ

くくく…





んんん

30℃...

んはあ...  
なら早くしてよ...

お昼には  
淳達帰って  
くるんだから。  
昨日のお風呂みために  
ハラハラさせるのは  
嫌なの...っ



でも夜は淳とお楽しみ  
だったんじゃないのかあ？

はっああんっ！

ががが  
ががが  
ががが



はっ、  
なんだそりや。  
つまり  
早くやりたいんだろ？

あんっ...  
ちがう...！

ぽにゅ  
ぽにゅ



ちょっと尻触ったくらいで  
まんこ濡らして  
ついて来やがって!

乳首っ、だめえっ、  
弱いんだってばあ…っ!



なのに  
なんでこんなに  
発情してんだよ?

それは…っ  
ちがっ、くて…!

こり、  
こり、  
こり、



くく…  
乳首だけで  
イったか。



やっぱり  
淳とじゃ満足できな  
かったんだろ!?



あ…

でもまだまだ

す…

んっ  
んっ  
んっ









きゅっ

きゅっ

ああ、  
最高だ。

これっ、  
気持ちいいの？

んっ、  
んしょっ、



そんな事  
言わせないでっ！

や、やめて…

うっ…！

おろお



くく、  
だいが素直に  
なってきたな。

どうだ、  
淳とするより  
いいんだろ？  
んん？

おろお  
おろお





じゅっ  
じゅっ

だって...ちゅっ、  
らってえ...♡

オナニーするほど  
興奮してんだもんなあっ!?

旦那に隠れて  
別の男のチンポ  
しゃぶって、



ちゅっ  
ちゅっ

すごいよなあ?



ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ぐんっ、んっっ!!



ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

もう言い訳  
できないな...っ!!

んっ  
んっ  
んっ!!

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ



つらっ  
つらっ

つらっ  
つらっ

んっ…  
んっ…

とろっ



ほら優香、服着ろ。

あ、ああんっ♡

もう終わりなのお？



んっ、はあ…♡

精液って…  
すごいエッチな味…♡♡

はあ  
はあ

ん？  
フェラも初めてだったか？

淳には悪い事  
したなあ、くくく…

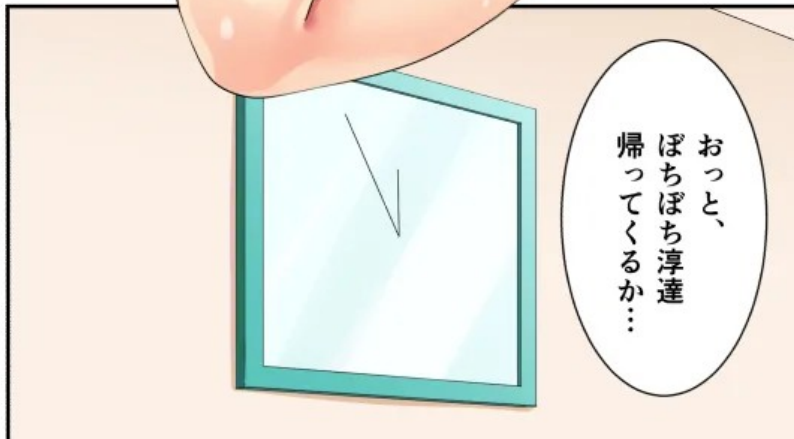
くさっ  
くさっ



まだ…こんなに  
うずいてるのに…

んー？

しする…



おっと、  
ぼちぼち淳達  
帰ってくるか…





け、賢くん…  
どこかで続きを—

よし。

くわくわ



おうちの車の音だな。

あっ…

…○○○○○



このまま玄関まで行って—

ちょっ…  
賢くん!?



出迎えてやるか。

えっ…

ええっ!?

アッ



あん!

ズンズン

おらっ、  
のぞき穴で  
確認しろ!



あっ、あっ…!



あつ…淳達…  
もう外にいる…っ！



うぐっ！  
中がキツク…！

アツク  
アツク



んああっ♡  
だつてえっ！  
もう来てるって！



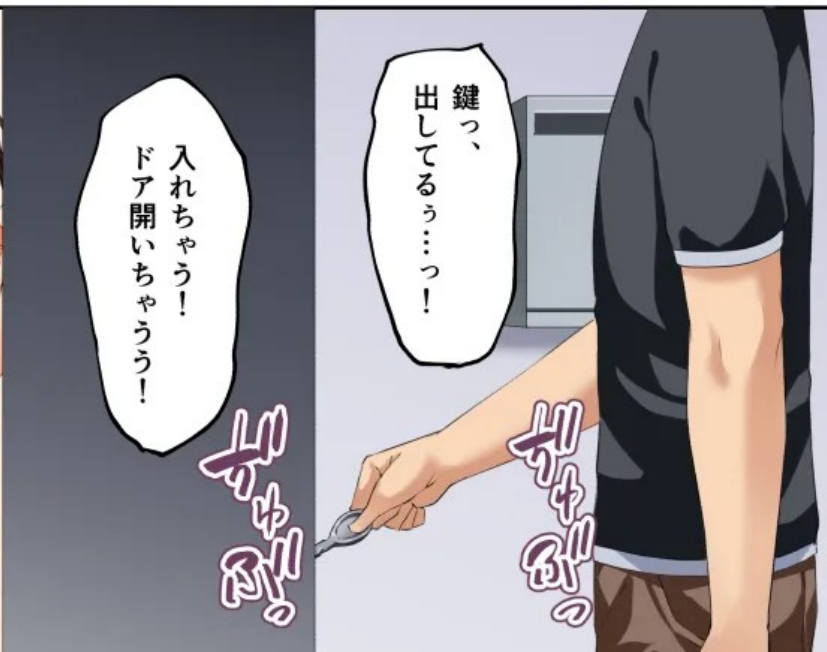
この状況で  
興奮してんのか優香あ！



うお…っ  
そんなに締めつけ  
られたら…！

くる…！  
キちゃうっ、  
キちゃうう…！

ぽかっ  
ぽかっ



鍵っ、  
出してるう…っ！

入れちゃう！  
ドア開いちゃうう！

カチャッ  
カチャッ



出る...!

あー

あー

あー



おかえりい。

お、優香。

体調は大丈夫なのか？

う、うん。  
ちよっと寝たら  
良くなったよ！

ごちよ...



あ、違うこれ  
出張先の部屋の鍵だ。

はっはっは。



ただいま。

かチャ

それから俺は  
実家に滞在している間、

淳の目を盗んでは  
優香を犯してやった。

優香もすっかり  
俺とのセックスにハマリ、

夫以外と関係を持つ  
背徳感やスリルにも  
むしろ興奮を  
覚えているようだった。

そして—

あれ、  
優香まだ入ってるのか？

う、うん…！  
ちよっと  
お腹の調子が…あっ♡



優香…?



だから最後に  
もう一回！

さわ  
さわ

んっ…



賢くん  
明日帰っちゃうでしょ？

ああ…



ほら  
おちんちんも  
もっとシたいって♡



ね♡

くくく…  
嫁のこんな姿  
淳が見たら！



淳か、  
そうだな…

ニヤ…



なんで私達の寝室に…!!  
淳が寝てるんだよ!?

こいつは昔から  
一度寝たら  
横で騒いだくらいじゃ起きない。

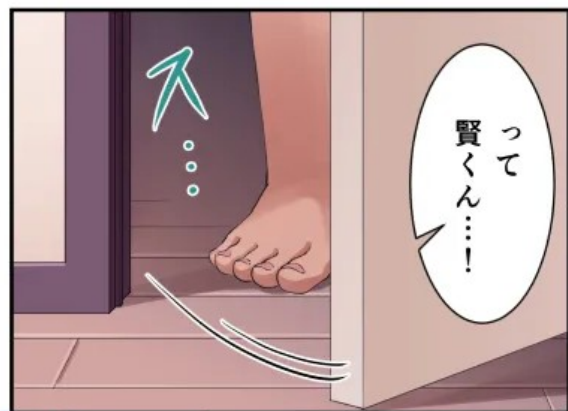
知ってるだろ?



ちょっと待て優香。  
場所を変えよう。

えっ、  
どこに…

ヤチャ



って  
賢くん…!!



ほら、来いよ。

したいんだろ?

うう…

こ、こんな…



そう…  
だけど…!!

うん



最後の夜を  
楽しもうぜ♪

ずぶぶぶ...

さあー

がし、

んああっ...!

ああっ、私、

ずぶぶぶ...

ずぶぶぶ...

ずぶぶぶ...

淳の横でっ、  
賢くんとセックスしてる...!

ずぶぶぶ...

ずぶぶぶ...

やっぱりお前、  
こういうの好きなんだな?





むちゅっ、れろっ、  
はあっ…、ちゅううっ！



ひあっ!?

ふっ！

かっ  
かっ  
かっ



ふはあっ、  
無理に抑えなくて  
いいだろ。  
声も音も  
聞かせてやろうぜっ！

どっ  
かっ  
かっ

ぬっ  
かっ  
かっ

あっ

ぬっ  
かっ  
かっ



そしたら淳のやつ、  
お前とセックスしてる  
夢でも見てるかもな！



あっ

ハチュンッ

んっ

ハチュンッ

隣で嫁が  
兄貴のチンポ啜えて  
悦んでるのも知らずになあつ!

くくく、  
軽くいったな?

淳、聞いているか?

んんんんん!!

ズル  
ズル

グ  
グ

が  
が

が  
が

ん

は  
あ

は  
あ

ん

お前とのセックスじゃ  
優香はこんな声  
出さねえだろっ!?

やっ、あつ、ああつ、  
だめっ、いまっ、  
いったばっかりでえっ♡

ず  
ちゅ

ず  
ちゅ

ず  
ちゅ

ん

ん

優香、  
お前からのはっきり  
言ってやれよっ！

俺と淳、  
どっちのセックスが  
いいか！

ぐっ  
ちゅ  
ちゅ

ど  
ちゅ  
ちゅ

ど  
ちゅ  
ちゅ

あっ、はあっ、  
ごめんなさいっ、  
淳…っ！

けうかー

私っ、  
賢くんがいいっ♡

ハ  
ア  
ハ

大人のおちんちんで  
ズボズボされるのが  
いいのっ♡

キュウウウ

頭まっ白になるくらい  
イカされるのが  
すきなのおっ♡

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

くくく……!

ハハハハハ

よおし、  
よく言えたな  
優香!

ハハハハハ

俺は嬉しいぞ  
優香!

ゲゲゲ

はああんっ♡

ゲゲゲ

ああっ、おちんちんっ、  
また大きくなったあ♡

私もイクっ……  
イっくう……!

ゲゲゲ

ゲゲゲ



この気持ち、  
受け取ってくれっ!!

あぁあぁ  
出てるぅっ!  
奥っ、  
こじ開けてえっ!



余計に淳じゃ  
満足できなくなっちゃうっ...♡♡♡



こんっ、なのおー



優香はお前の嫁だが  
もうお前のものじゃない。



ふう。  
悪いな淳。



知ってるか？  
壊れたものは  
もう元には戻らないんだ。



じゃ、  
体に気をつけて。

おう、  
母さんも。



でもな—



賢くんも…  
次は年末まで  
帰って来られないの…？

壊すだけ壊したら、  
新しく作り直すのも  
簡単なんだぜ。

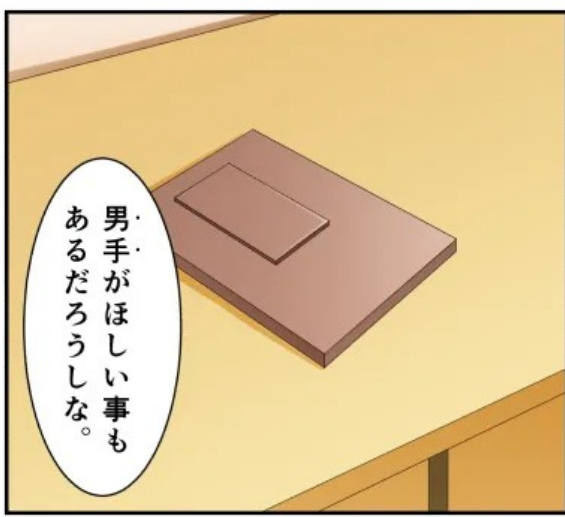
んくそうだなあ。



まあ帰れそうな時は  
様子見に来るよ。

あ、そうなの？

そうしてくれると  
俺も安心できるよ。



男手がほしい事も  
あるだろうしな。



女2人だけじゃ  
ちょっと心配だしな…

確かに…  
くくくっ…

ちんちん

おまけ

やっぱり大好き  
お医者さんごっこ

どうでしょう先生？  
体がとっても  
熱いんです…♡

ん  
少し脈拍が  
速いすかねえ。

130にやん

このあたりに  
硬化も見られます。  
痛くないですか？

あっ

ちょっと  
触診しますよ。

ズボッ

少し…敏感に  
なってる…かも♡

うわあ、  
ここもすごい熱だ。

ん31

おあ  
おあ  
いっはいズボッズボッしてっ  
白いお尻スリ注いでえっ!!

これはすぐに  
注射しないとっ!

おあ  
おあ  
おあ

おあ  
おあ  
おあ

おあ  
おあ  
おあ

おあ  
おあ  
おあ